

当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の自宅復帰に影響する因子の検討

研究の概要

大腿骨近位部骨折は高齢者に多い疾患とされ、当院回復期病棟の中でも特に多い疾患となっています。骨折・入院を機に自宅復帰が困難となり、施設へ入所する患者も少なくありませんが、その要因を検討した報告は散在しており、特定には至っていません。

そこで当院大腿骨近位部骨折の患者を対象にし、自宅復帰の要因を検討します。

研究対象

当院回復期リハビリテーション病棟にH24年4月～H26年5月の期間に入院した大腿骨近位部骨折患者様。ただし、受傷前に施設に入所していた方、入院中に死亡・転院・転科した方は除きます。

研究の意義

回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者様の自宅復帰に影響する要因を検証することで自宅復帰率の増加に繋がると考えられます。

研究の方法

当院回復期にて入院している際に聴取または検査した基本情報、身体的情報、社会的情報をもとに施設と自宅の2群に分けて身体的情報及び社会的情報について比較します。基本情報・身体機能および社会的情報については以下のデータを使用します。

基本情報 疾患名、術式、年齢、性別、合併症、要介護度

社会的情報 退院先、回復期在院日数、急性期在院日数、同居人数、協力者の有無・続柄、

身体的情報 MMSE¹⁾、FIM²⁾、10m歩行速度、退院時屋内自立歩行の可否

1) MMSE (ミニメンタルステート検査) : 簡易的な認知機能検査

2) FIM (機能的自立度評価法) : 日常生活動作の評価法

個人情報に対する配慮

入院中における検査目的として使用されたデータをもとに研究利用させていただきます。院内に保管している患者様の個人情報は院外に出ることがないように厳重に保管しています。また、研究に利用するデータは患者様個人が特定されない方法で利用させて頂いています。患者様もしくはご家族様がこの研究へのご参加を希望されない場合には以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒512-1111 三重県四日市市山田町 5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーション科 村田智恵

TEL 059-328-1260 FAX059-328-1921